山行報告書

計画書整理No.
期　　間：2025年1月10日（金夜）～1月13日（月）
種　　別：(合宿)　例山　個人　岳連　協会
山　　域：中央アルプス宝剣岳(サギダル尾根)～南アルプス芦安上荒井沢(カモシカルンゼ)

参　加　者：　河本嘉照(横須賀山岳会)、Aya(東京緑山岳会)

コースタイム
1/10
20:00横須賀21:00東京1:00菅ノ台バスターミナル(車中泊)

1/11
8:00 菅ノ台 BT9:00 千畳敷 ST10:30 サギダル取付 12:56 サギダルの頭 15:23 宝剣岳 15:46宝剣山荘(幕)

1/12
5:55宝剣山荘BC6:30F沢(撤退)7:40宝剣山荘BC9:00千畳敷ST10:30菅ノ台BT11:30明治亭(昼食)14:30道の駅白州(車中泊)

1/13
6:00道の駅白州6:30コンビニ(朝食)7:51林道入口9:00カモシカルンゼ15:00終了点16:52林道入口

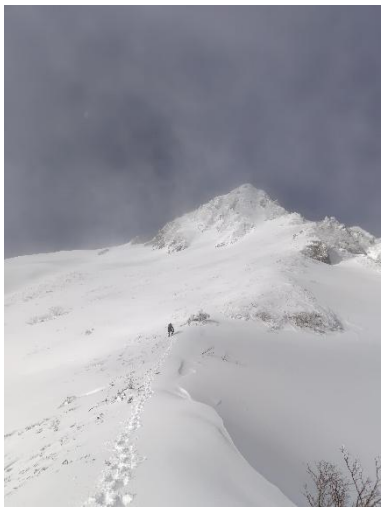
行動
1/10
　この日は移動日。計画は1/11サギダル尾根、1/12極楽尾根、1/13第二尾根をやるつもりであったが、この週はまとまった積雪があった様なので、山のコンディションが気になっていた。現地の状況次第でアイスクライミング山行への転進する事を確認し、その準備を整えて出発した。夜の出発なので道も空いており、予定時間通り菅ノ台バスターミナルへ到着。車中泊とした。

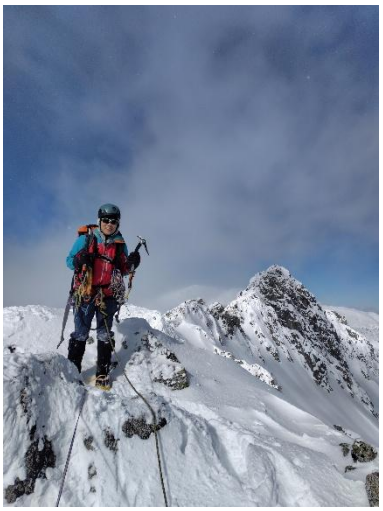
1/11
　しらび平駅行きの始発バスは8:15の予定であったが、それなりに登山客が多かった為か、15分早い、8:00に出発となった。ほぼ計画通り9:15頃千畳敷駅に到着。駅の出口付近で登攀の準備を進めていると、警官に声をかけられた。3日間でサギダル、極楽、第二、各尾根をやる計画である事を伝えると、警官から面白い回答を頂いた。

「私は千畳敷カールを登るより、サギダル尾根をやる方が余程安全な気がしています。頑張ってきて下さい！」

私もその意見に激しく同意した。今にも雪崩が起こりそうなカールを、時間をかけゆっくり登るガイド登山の方が余程危険な気がする。いや、実際そうなのだろう。そんな事を思いながら 9:42 に千畳敷駅を出発した。序盤は膝上から腿くらいまでのラッセルであったが、Aya さんと交代しながら順調に高度を稼いだ。1 時間程のラッセルを終えると、斜度が増し、岩肌が露出し始めた事に気がつく。補助ワイヤー等が見え始めたので、サギダル尾根に乗った事を確信した。ロープを出す程ではなかったので、ドンドン進み、気がつくとサギダルの頭下 70m 程の所まで上がってきていた。先行のソロの方が多少難儀している箇所があったので、そこは一応ロープを出す事を Aya さんと確認した。Aya さんリードで登攀を開始してみると、確かにそこだけはあまり良くはなかった。ロープがなくても行けない事もないが、出して正解。核心と思われるピッチを終え、そこからもう 1 ピッチ程伸ばすと、12:56 サギダルの頭に到着していた。正直サギダル尾根は呆気なく終わってしまったなという印象であった。さあ、後はとっとと宝剣岳へ行き、明日からの本番の為にゆっくり休もうと思ったのも束の間、ここから先がこの日のメインディッシュとなった。

　はっきり言うと、サギダル尾根より、宝剣へ向かう登山道の方が遥かに悪い。積雪でルートも不明瞭でとにかく登れそうな所を登り、降れそうな所を一部スタカットで降った。サギダルの頭から宝剣岳は夏道のコースタイムでは 30 分程であるが、この日の我々はここを 2 時間半かけて通過、GPS の記録では 15:46 に宝剣山荘到着となっている。まあ、暗くなる前に安全地帯へ抜ける事ができおんのじであった。到着と同時に小屋前に幕場適地を見つけ幕を張り、雪袋に水作り用の雪を積め各自夕食をとった。この辺りはお互い協力し合いやる事を迅速にやれたのではないだろうか。その後特にやる事もないので、21:00 頃にはシュラフに潜り込んのだが、寒波の影響でこの日の幕場の気温は-20℃位。寒さで久々に眠れない夜を過ごした。


ラッセル終了


サギダルの頭

幕場

1/12
　寒さで全く眠る事ができず、こんな事ならもっと早い起床予定時間にしておけば良かったと思いつつ、何とか起床予定時刻 3:30 までやり過ごす。流石に Aya さんも全く眠れなかったと後に語っていた。昨日の状況から、極楽尾根のコンディションも悪い事が予想できたので、とにかく早く出たかったのだが、準備に手間取り出発まで 2 時間半の時間を要した。朝食を食べ、準備を整え、ベースキャンプを出発したのが 5:55。まだ辺りが薄暗いため、ヘッテンを付けながらの出発となった。極楽尾根取付へは宝剣沢を降るのだが、ここも 1 部腰辺りのラッセルを強いられた。今にも雪崩そうな沢の中を歩くのはやはり気分の良いものではない。30 分程沢を降っていると次第に辺りが明るくなりだした。そこでしばらく 2 人で山を観察してみると、やはりコンディションが悪いと言わざるを得ない状況であった。宝剣岳に登るだけでもあれだけ苦戦したので、きっと極楽尾根はもっと悪いだろう。お互いに撤退する意思を確認し、6:30 宝剣沢登り返しを開始した。この沢も決して安全ではない事を理解していたので、可能な限りスピード感を意識して登り返し 7:15 に宝剣山荘 BC に到着した。

　安全地帯へ戻ってきたのも束の間、BC の撤収をしながら今後の行き先を話合い、南アルプス上荒井沢カモシカルンゼに転進とした。8:36 に宝剣山荘を出発し、千畳敷カール経由で 9:04 に千畳敷駅に到着。10:45 頃には菅ノ台 BT に到着したと記憶している。その後明治屋さんでソースカツ丼を頂き、特に急いでいる訳ではなかったので下道でゆっくりと道の駅白州へ向かい、そこで車中泊とした。(夕食は最寄りのバーミヤンを利用)

1/13
　この日は 5:30 起床。最寄りのコンビニに立ち寄り朝食をとり、6:30 頃芦安へ向けて出発した。芦安に到着後、登山口を確認し駐車スペースを探す。登山口付近にスペースは沢山あるのだが、駐車禁止の看板が目に入った。仕方がないので、少し離れた適当な場所を発見し駐車した。準備を完了し駐車場を出発したのが 7:51。そこから 1 時間程林道を歩き、今回の目当てのカモシカルンゼに到着した。氷の発達状況が悪く、かなり薄氷状態に思えたが、Aya さんの判断で登れそうだという事でやる事になった。1P3P を私が、2P4P を Aya さんがやる事を確認し、登攀を開始したのが 9:30 頃と記憶している。

トポに関しては以下にまとめておく。

1P 目(Ⅲくらい)河本
F1 の垂直になるところでピッチを切った。体感だとⅢ級くらいか。支点がアメリカンデストライアングルになっていて、Aya さんに叱られる。

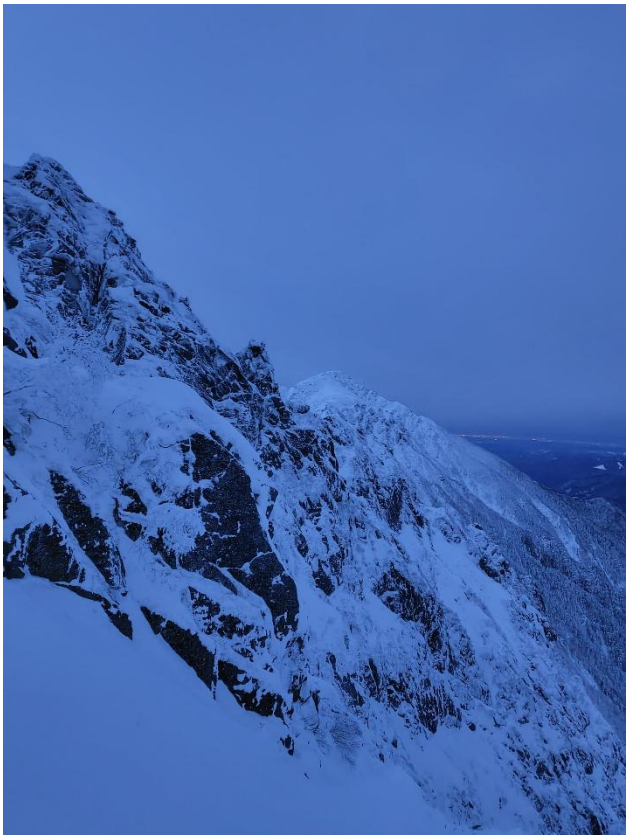
2P 目(Ⅴ-くらい)Aya さん
F1 の垂直になっている核心部から、F2 まで抜けてくれた。垂直部をクォークで登る事に限界を感じ、ノミックを購入する事を決意するピッチとなった。それでもテンシ

ョンは掛けず、無難に登れたのではないだろうか。とてもリードする気にはなれないが。

3P 目(Ⅲ+くらい)河本
比較的緩やかな傾斜 F3 のピッチであったが、氷の状態が悪くプロテクションがとれなかった。難しくはないのだが、ランナウトで嫌らしいピッチとなった。

4P 目(Ⅳくらい)Aya さん
F4 の上部が立っていて難しい。左側の岩壁をステミング気味で使ったり、氷に戻ったり工夫しながら登った。

下山
　下山に関しては同下降。懸垂を 3 回程すればスタート地点へ辿り着ける。程良い間隔に立木もあり、特に難しい事もないのだが、相方がかなり手こずっていた。1 回目 2 回目の懸垂は私が先行したのだが、後行の Aya さんは同じ所に降りてきてくれず。左に振られたり、登り返したりトラバースしたりと無駄に時間を要した。13:30 頃懸垂を開始し、スタート地点に戻ってきたのが 15:30 頃だったと記憶している。正直時間がかかり過ぎである。まあ、クライミングの難しいピッチは全て相方がやって頂いているので、文句は言えないのだが。


敗退の極楽尾根

転進先のカモシカルンゼ

無事クライミングを終えまた林道を歩き、駐車場に到着したのが 16:52。白根桃源天笑閣で温泉に浸かり、ぼんち食堂さんで夕食をとり帰宅した。

感想

　1月の中央アルプス登攀は季節感を間違えた感は否めない。次回やるとしたら12月下旬、あるいは3月下旬辺りかと相方に指摘される。私としてはサギダルだけでもやれたので良しとしたい。転進したカモシカルンゼはAyaさんのリードのお陰である程度楽しみながら登れた。

　今回の反省点としては、私は支点でアメリカンデストライアングルをつくってしまった事。これは言い訳だか、リードに時間がかかり焦ってしまった。クライミング力を引き続きあげて行くことも私の課題である。Ayaさんに関しては懸垂に課題を感じざるを得ない。もう少しスムースにやってもらいたいところであった。まあ、お互いに足りないところを相互に補完し、一つの目標をやり遂げる事こそがアルパインクライミングの醍醐味でもとあると私は思うのだが。お互い理想のクライマー像に向けて、努力を続けて行きたいところである。

以上、横須賀山岳会 2025 年冬合宿の報告となります。成果が少なく、合宿とは名ばかりになってしまい大変恐縮です。これからも微力ながら精進したいと思っております。

記録
横須賀山岳会
河本嘉照